

---

# 人々を幸せにするシステム開発

## ～イテレーション開発の効果～

2008/9/7

株式会社アットウェア

松館 渉

## 「人々を幸せにするシステム開発」

この永遠のテーマについて、イテレーション開発がもたらす効果を考察します。

### システム利用側

- 経営者
- システム担当者
- オペレータ

### システム開発側

- 経営者
- プロジェクト管理者
- SE、プログラマー

すべてのステークホルダーが  
幸せになれるには？

### システム利用側

- **経営者**  
→投資対効果を大きく
- **システム担当者**  
→できるだけ早く利用したい
- **オペレータ**  
→使いやすいシステムが欲しい

### システム開発側

- **経営者**  
→顧客を満足させたい
- **プロジェクトリーダー**  
→必要なものだけ開発したい
- **SE、プログラマー**  
→便利なシステムを開発したい

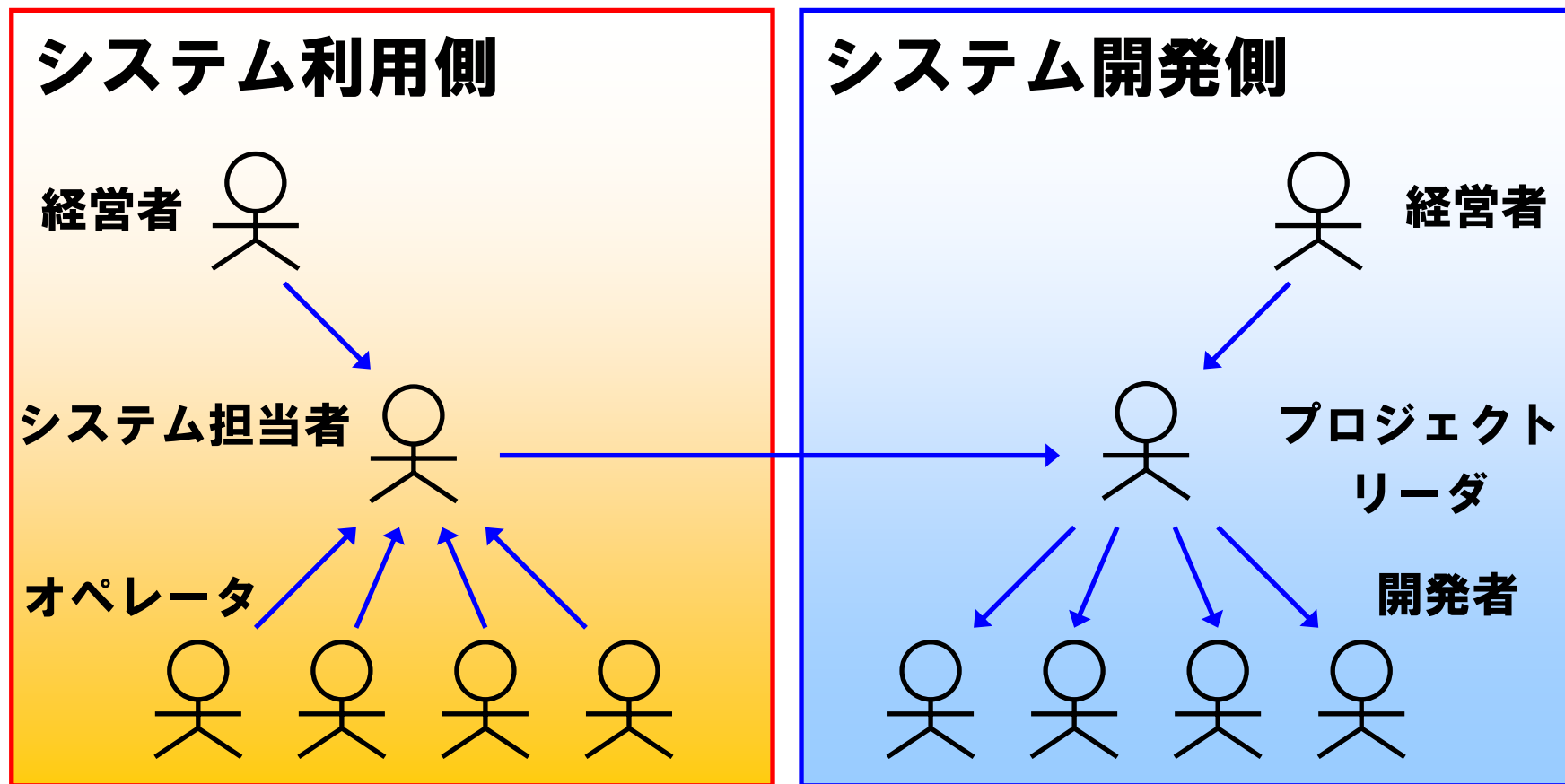
**両者の思いは完全に一致！**

### もちろんBusinessですから

1. 何を作るのか決めましょう。
2. いつまでに作るのか決めましょう。
3. サービスレベルを保障しましょう。
4. いくらかかるのか決めましょう。

**事前に合意をしてから取り掛かりたいですね。**

# 通常のシステム開発体制



組織に合った合理的な布陣ですね。

## 世の中のシステム開発はよくトラブル！

- 要件が増える
- 納期に間に合わない
- 品質が悪い
- そもそも要件が不要だった
- etc, etc...

ソフトウェア開発プロジェクトの成功率は？

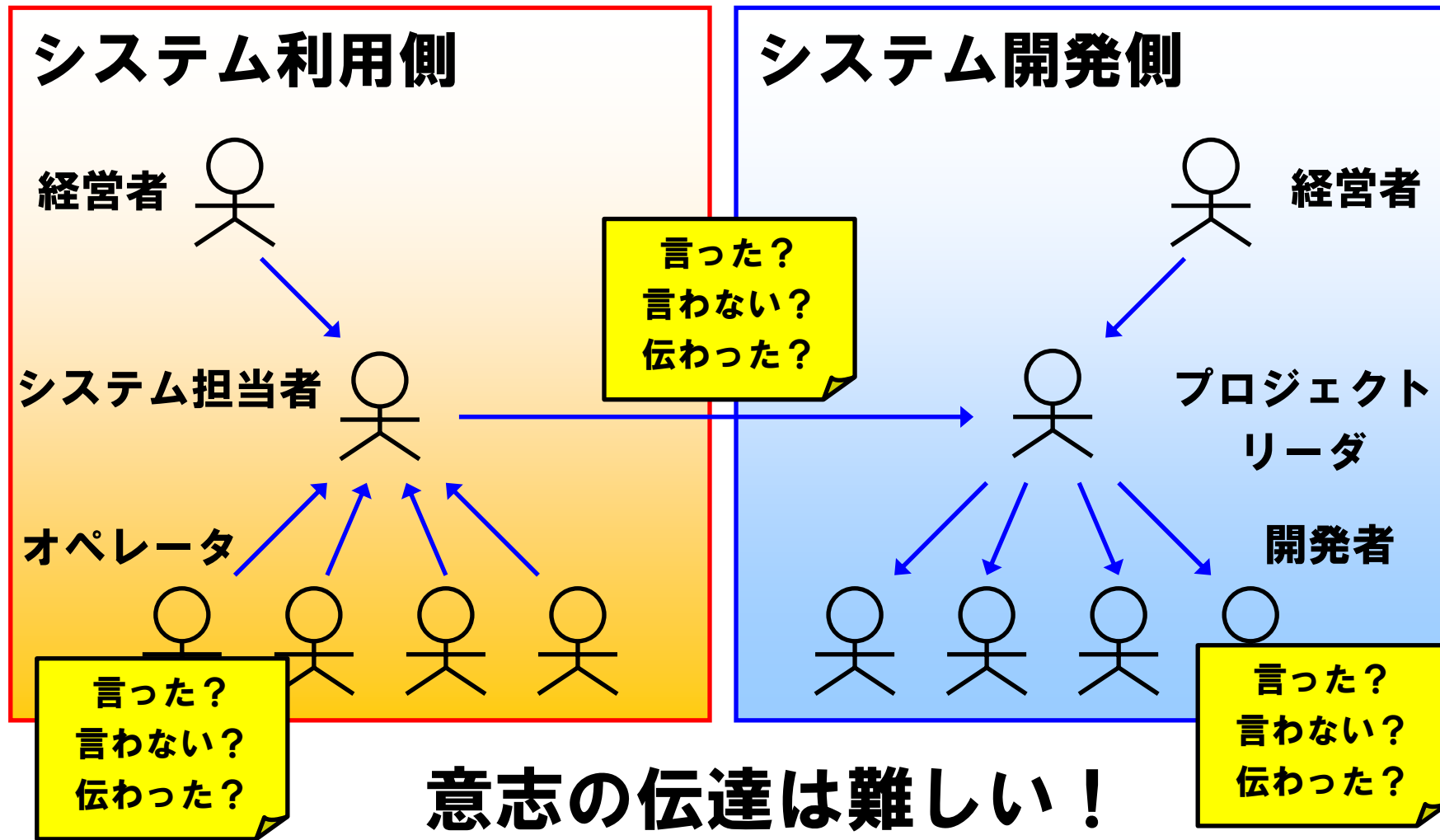
開発したシステムはどれ程使われているの？

### そもそも計画はどのようなの？

1. 何を作るのか決めましょう。  
→最初から決められるの？
2. いつまでに作るのか決めましょう。  
→そんな先まで決められるの？
3. サービスレベルを保障しましょう。  
→作る前から決められるの？
4. いくらかかるのか決めましょう。  
→見積もりは本当に合っているの？



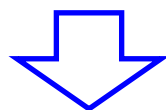
# 開発体制の問題点



# こういう方針で開発しては？

1. まずはなんとなく動くものを作りましょう。
2. 担当の意見を直接聞きながら作りましょう。
3. 作ったものが気に入らなければ直しましょう。

2. と3. をひたすら繰り返せば、いつかは理想なシステムに近づくはず。



**人々が幸せになれるはず！**

システム利用側の要望

ここまで開発したい

開発範囲

期間・コスト

できれば期間もコストも圧縮したい

開発範囲

期間・コスト

システム開発側の回答：無理！無理！

## システム開発側の要望

ここまで開発したいと言われた

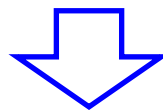
開発範囲

期間・コスト

でも、余計なものは作りたくない

開発範囲

期間・コスト



システム利用側の回答：もっと作って欲しいのに...

そこで・・・

まずはここまで契約をしましょう

契約する範囲＝開発期間・コスト

期間・コスト

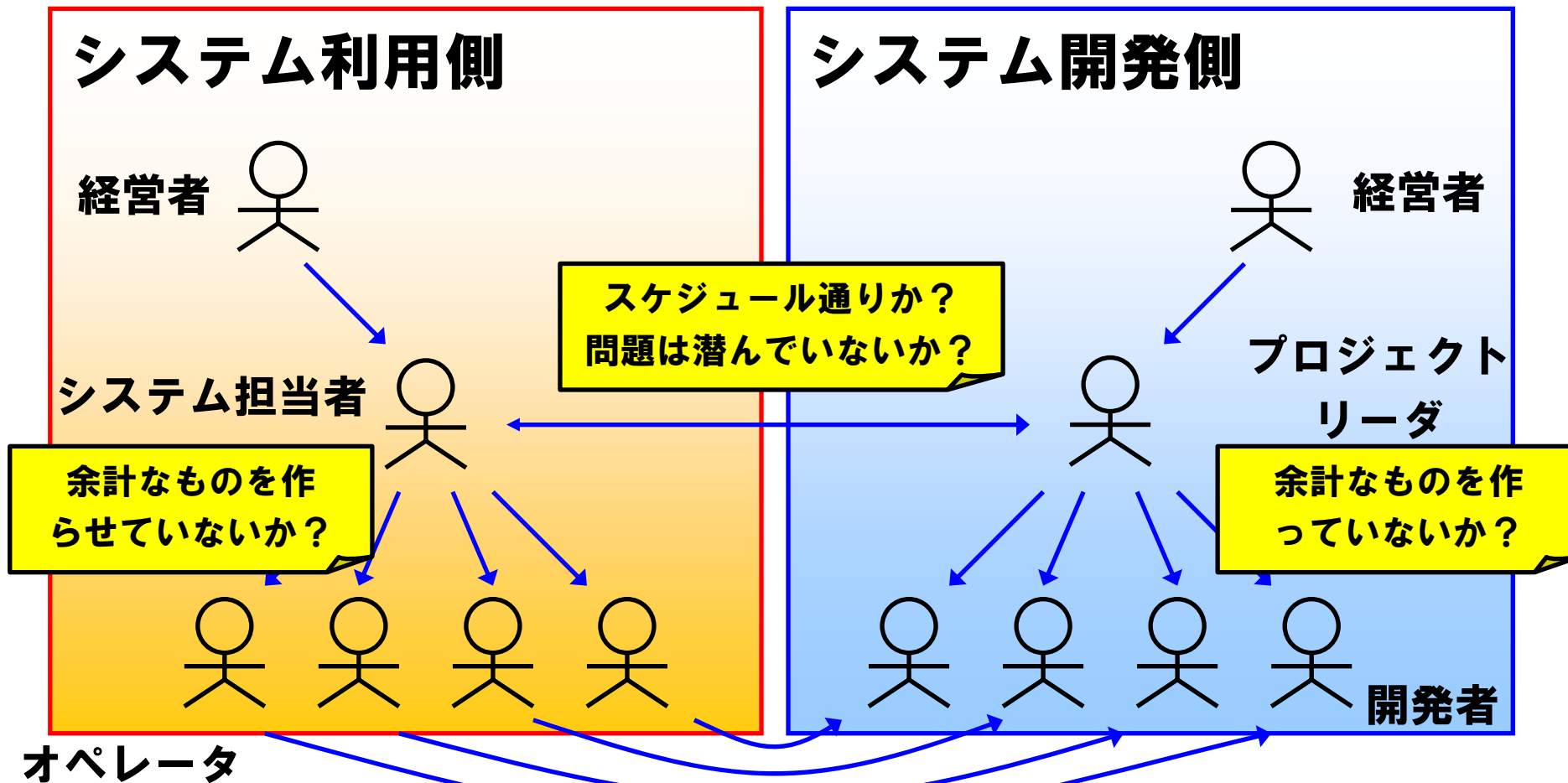
もし結果がこうなったら

開発範囲＝本当に必要なもの

期間・コスト

両者が幸せになれるはず！

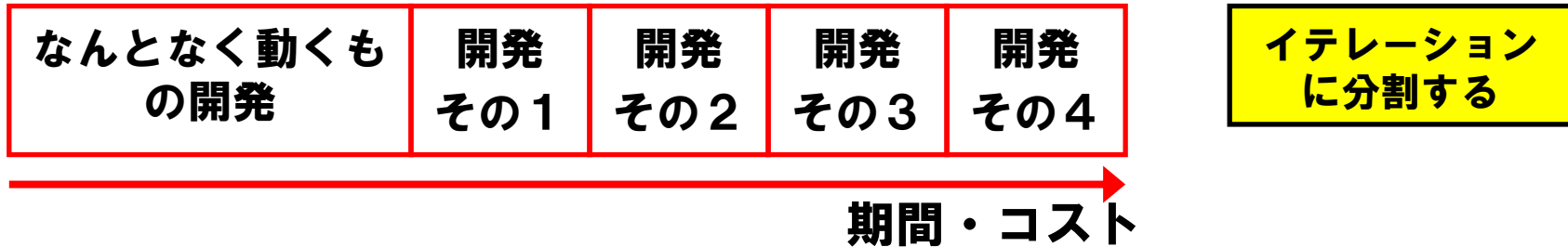
# 意志伝達をスムーズに



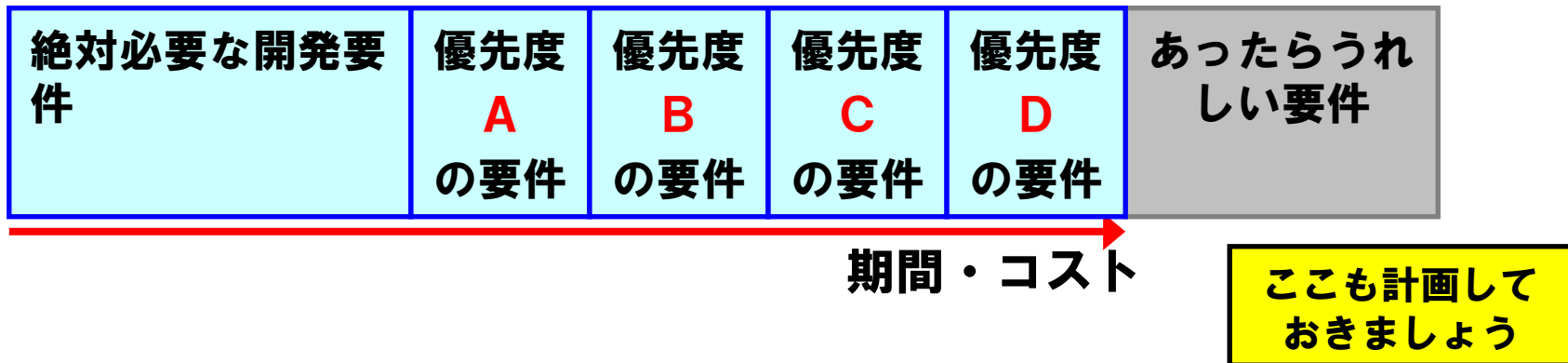
## 伝言ゲームはやめましょう！

# 結論：開発計画を立てましょう

## 開発期間を細かく区切りましょう



## 各期間で開発する要件の計画を立てましょう



# どういう結果が期待できるのか？

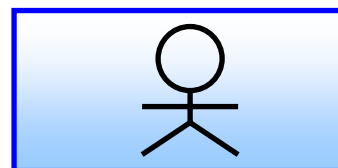
# 結論：期待される結果

## このような計画でスタートしました

絶対必要な開発要件	優先度 <b>A</b> の要件	優先度 <b>B</b> の要件	優先度 <b>C</b> の要件	優先度 <b>D</b> の要件	あったらうれしい要件
-----------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------

期間・コスト

沢山作るためには要件をスリムにしないきゃ



無駄な開発をしないためにはシンプルな方法を提案しないきゃ

## 結果はこうなりました

絶対必要な開発要件	優先度 <b>A</b> の要件	優先度 <b>B</b> の要件	優先度 <b>C</b> の要件	優先度 <b>D</b> の要件	あったらうれしい要件
-----------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------

期間・コスト



Special Thanks !

---

ご静聴ありがとうございました。

株式会社 アットウェア  
松館 渉  
wmat su@atware. co. jp

